

文部科学省共同利用・共同研究拠点  
「社会神経科学研究拠点」主催シンポジウム  
「世界と社会における色と質感」



2019年5月29日（水）・30（木）に玉川大学大学研究室棟 B104 教室にて「世界と社会における色と質感」を開催した。ヒトの視覚は進化の過程で自然環境のみならず社会環境へも適応するように形作られてきた。例えば、他者の顔色や肌の質感などを正確に捉え理解することは、集団生活を営むヒトにおいて重要な適応問題であったと考えられる。従って、ヒトが持つ色や質感への知覚を理解することはヒトの社会性を理解する上で非常に重要であることから、本シンポジウムでは色や質感をテーマにした様々な研究分野の研究者に話題提供を行っていただくことで、ヒトの視覚が持つ社会的な機能への理解を深めた。

（脳科学研究所 高岸治人）

日時：2019年5月29日（水）13:00～18:10

場所：玉川大学大学研究室棟 B104

話題提供者、およびタイトル：

澤山正貴（N T T コミュニケーション科学基礎研究所）  
「物体の質感特性を推定する視覚情報処理過程の検討」

溝上陽子（千葉大学大学院工学研究院）  
「顔の肌における色と質感知覚は特別？」

渡辺英治（自然科学研究機構基礎生物学研究所）  
「予測符号化説を組み込んだ深層学習ネットワークによる錯視の知覚再現」

横澤一彦（東京大学大学院人文社会系研究科）  
「新奇文字の学習における色字共感覚の転移」

西野 恒（京都大学大学院情報学研究科）  
「水と光」

栗木一郎（東北大学電気通信研究所）

「色情報の脳内表現について：低次と高次からのアプローチ」

降旗千賀子（フリーランスキュレーター（元目黒区美術館学芸員））

「色の質感を視る・読むための美術展覧会「色の博物誌」

日時：2019年5月29日（水）13:00～18:10

場所：玉川大学大学研究室棟 B104

平松千尋（九州大学芸術工学研究院）

「色覚多様性の諸相」

佐藤いまり（国立情報学研究所）

「反射・散乱・吸収・発光から物体の特性を読み解くイメージング技術」

中内茂樹（豊橋技術科学大学）

「絵画配色に対する選好：普遍性と多様性」

本吉 勇（東京大学大学院総合文化研究科）

「視覚世界の質感とテクスチャ情報処理」

